

京都府立西城陽高等学校【部活動に係る活動方針】

令和2年4月

1. 部活動の意義について

高等学校における部活動は、学習指導要領において「生徒の自主的、自発的な参加により、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するもの」と位置づけられ、また、「学校教育の一環として、教育課程との関連が図られる」とともに「地域や学校の実態に応じ、地域の人々の協力や各種団体との連携などの運営上の工夫を行うようにする」とも示されている。

学校教育の一環として行われる部活動は、興味と関心を持つ同好の生徒が、教員等の指導のもと、自主的・自発的に行うものであり、日々の活動を通じて、自主性、協調性、責任感、連帯感などを育成する場として、また学校全体の一体感を醸成する場として、学校生活に豊かさをもたらす意義を有している。

2. 部活動の目的について

集団活動を通じて、心身の調和のとれた発達をはかり、個性を伸長するとともに集団の中の一員としての自覚を深め自主性・実践的態度を養うことを目的とする。(校内規程集より)

3. 設置部活動について

[体育系]

陸上競技部・ソフトテニス部・剣道部・卓球部・硬式野球部・バレーボール部・バスケットボール部・女子ソフトボール部・水泳部・バドミントン部

[文化系]

吹奏楽部・茶道部・美術部・写真部・ESS 部・天文部・文芸部・合唱部・コンピュータ研究部

4. 活動について（練習時間・休養日の設定等）

[練習時間]

- ・長くとも練習時間は平日は3時間程度（朝練習を含む）、土・日曜日及び祝日に実施する場合は4時間程度とすること。なお、長期休業中の練習については、土・日曜日及び祝日に実施する場合に準ずる。
- ・公式戦、遠征、合宿の際の活動時間は競技特性により異なるが、生徒の心身の状態を的確に把握して設定する。
- ・通常授業日は、18時30分活動終了、19時00分完全下校とする。
ただし、活動終了及び完全下校の時間については、顧問付き添いの場合は1時間延長できる。
- ・午前中授業日及び長期休業日（学年始・夏季・冬季・学年末休業日）については、活動時間を9時00分～17時00分とし、17時30分完全下校とする。活動する場合は、各休暇中の活動計画を必ず生徒指導部へ提出する。
- ・早朝練習は事前に生徒指導部の承認を受け、原則として7時00分から8時20分までの間とする。

[休養日の設定]

- ・ 1年間を通して、1週間（日～土）に1回の活動しない日を設ける。
- ・ 競技上あるいは部員のコンディションに支障のない場合、月当たり2回程度、土・日曜日に休養日を設定するよう調整する。

5. 活動計画（年間・月間）等について

- ・ 「年間活動計画」は、年度当初に生徒指導部に提出し、許可を受ける。
- ・ 「月間活動計画」は、毎月生徒指導部に提出し、許可を受ける。
- ・ 校外で活動を行う場合は、部活動届を生徒指導部に提出し、許可を受ける。
- ・ 活動計画については、スポーツ総合専攻コースの設置意義や教育目標等に鑑み、医科学的な視点や期分け*（ピリオダイゼーション）の概念及び競技特性や「スポーツ専攻」の科目等を考慮して適切かつ弾力的に運用する。

***ピリオダイゼーション(期分け)とは**

中・長期計画(半年～1年)を立案し、その下位に短期計画を立案・配置していくことをいう。

6. 指導の在り方について

[適切な指導]

- ・ 医科学的理論やトレーニング方法等を積極的に習得し活用する。
- ・ スポーツ障害・外傷やバーンアウト等を予防し、心理的な回復を図るために、適切な練習時間や休養日を設定する等、合理的かつ効率的・効果的な練習を行う。

[体罰・ハラスメント行為の防止]

- ・ 体罰は、学校教育法第11条で明確に禁止されている行為で、生徒に対する人権侵害であり、いかなる理由があっても絶対に許されない行為である。
- ・ 体罰、ハラスメント行為（セクハラ、パワハラ等）を防止するために、部活動においては、指導者が意図する、しないに関わらず生徒と支配、被支配の関係になる危険性があることを常に意識し、日常の生活を通じて、生徒とのコミュニケーションを密に図りながら信頼関係を構築していく必要がある。

7. その他

- ・ 活動にあたっては生徒の心身の状況を適切に把握し、熱中症対策や落雷等の気象変化対策を講じるなど、事故が起きないように安全管理と事故防止に十分配慮して実施する。
- ・ 地域社会に貢献できる人材育成の観点から、各部においては清掃活動やボランティア活動等、地域諸団体との連携を図り、地域のスポーツ及び文化の振興に寄与する。
- ・ 原則、「京都府部活動指導指針」「運動部活動指導ハンドブック」等の指導指針に基づき活動する。